

5 ため池浸水想定区域図(北池・芦池)

ため池ハザードマップの作成条件

● ため池ハザードマップは、万が一への備えとして「最大規模の浸水想定区域」を示しています。浸水想定区域は、以下の条件に基づく「はん濫シミュレーション」により求めています。

- ① ため池が満水状態のときに、大雨や大地震等によって堤防が決壊し、全貯水量が流れ出すと仮定しました。
- ② 決壊を仮定した場所は、堤防が高い場所としました。
- ③ 決壊によって流出する水は、地形を5mの格子で表した数値モデルを用いて、その動きや場所ごとの水深等を計算により求めました。

家屋倒壊等氾濫想定区域

家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域
※この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることを留意してください。
降雨条件:大和川合流点上流域の24時間総雨量904.1mm、1時間最大雨量102.5mm

河岸侵食

土砂災害(特別)警戒区域

急傾斜の崩壊

傾斜度が30°以上である土地が崩壊する自然現象

特別警戒区域

警戒区域

地滑り

土地の一部が地下水等に起因して滑る自然現象又はこれに伴って移動する自然現象

警戒区域

---> 方向

※特別警戒区域:建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域(土砂災害防止法第9条第1項に該当する区域)
※警戒区域:住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域(土砂災害防止法第7条第1項に該当する区域)

凡例

- 一時避難所
- 避難所
- ヘリポート予定地
- 交番
- 防災倉庫
- 屋外スピーカー
- 病院
- 主要施設
- 府の緊急交通路
- 市の緊急交通路
- 破堤点
- 洪水到達時間



ハザードマップ活用の留意点

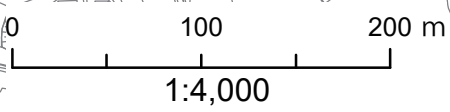
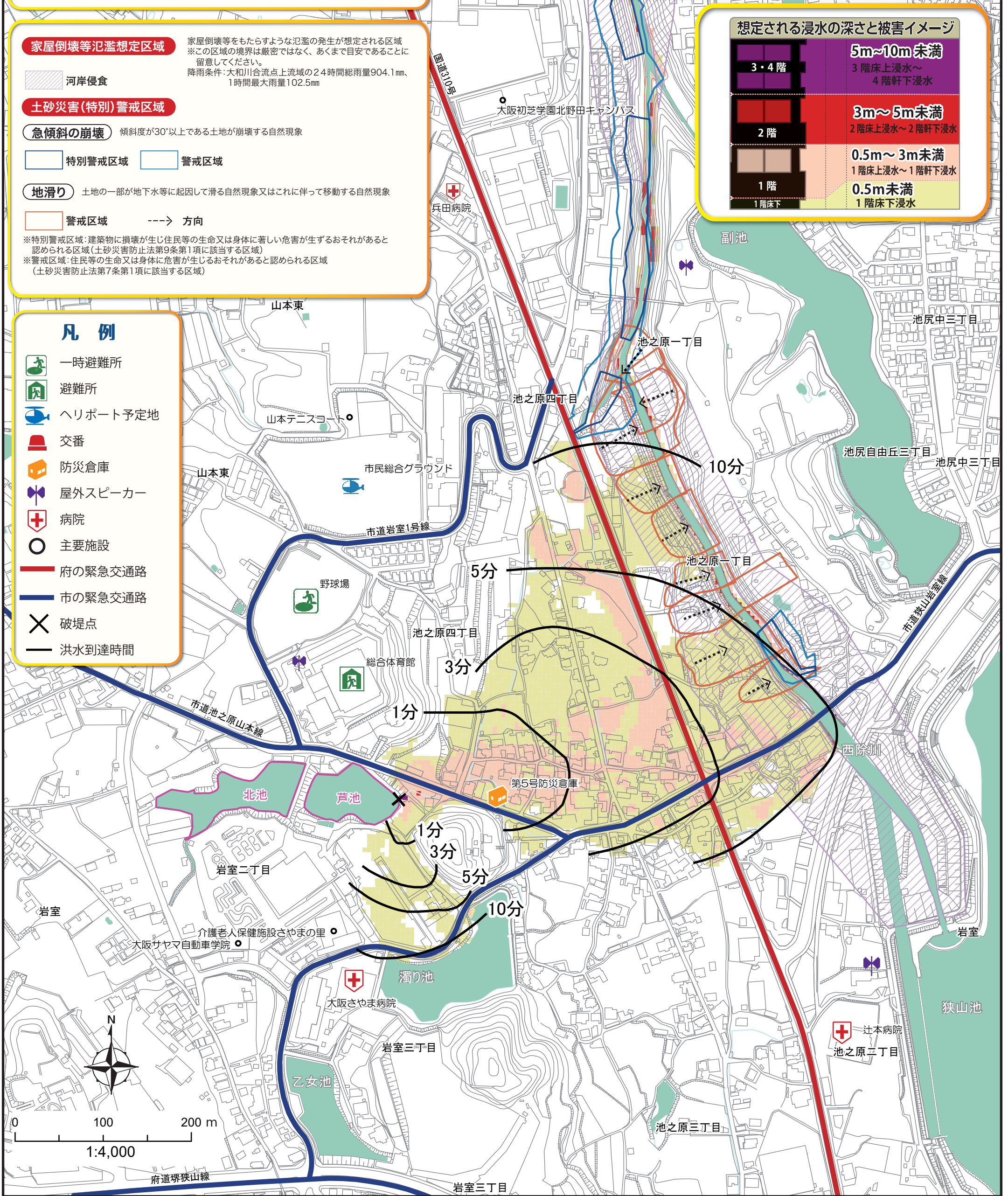
東日本大震災の津波被害などでは、ハザードマップで示した浸水想定イメージが固定化され、状況に応じた避難判断の阻害になったケースがありました。

浸水想定結果は、ある一つの仮定条件に基づく結果です。また、詳細な地形等を反映できていない場合もあり、浸水想定区域外での浸水や、想定結果以上の浸水深となる可能性もあります。

このため、ハザードマップは多様な災害をイメージする基礎情報であることを留意し、発災時は状況に応じた柔軟な避難行動を心がけてください。

想定される浸水の深さと被害イメージ

3・4階	5m~10m未満 3階床上浸水~ 4階軒下浸水
2階	3m~5m未満 2階床上浸水~2階軒下浸水
1階	0.5m~3m未満 1階床上浸水~1階軒下浸水
1階床下	0.5m未満 1階床下浸水



府道堺狭山線